



# いなば泰子 ニュース

## 二月市議会の報告

### 豊かな発達を保障する保育園を

運営費国庫負担金の廃止に伴って、「コスト削減を理由に公立保育園を民間委託すること」はあまりにも拙速ではないかと迫りました。市長は「コスト削減だけだと考えておりません。子どもたちのためにいい保育をするのはどうしたら良いか、考えた上でやっていく」と答えました。また、定員の百二十五%超の受け入れによる待機児ゼロではなく、保育園増設を求めました。市長の答弁は、「必要に応じて保育園を増やす努力をします。その場合、市民協働で行っていきますのでよろしくお願います。」でした。

### 受けやすいBCG接種を

四月から乳幼児のツベルクリン反応検査が廃止されて、基本的に生後六ヶ月までの乳児の時期に全員がBCG接種を受けられるようになりました。

期間の短縮で接種率が低下や新生児期の副反応が心配されています。制度の変更内容を周知徹底すること、六ヶ月以後に接種される方についても費用の補助をすべきと迫りました。

### 自立できる障害者支援法を

国会に提案されている「障害者自立支援法」は障害者の自立を支援するといいながら、利用料の大幅な引き上げで、多大な負担を強いる内容になっています。そこで「負担増にならないよう国へ意見を上げて欲しい」と要望するよう

保健福祉局長は、「移行期間を過ぎてからの周知については、親子手帳や予防接種手帳に提起する一方、医師会にもお願いをする。費用の補助は、期間内に受けるよう周知徹底する」と答えました。

「サービ」入料や負担金に与える影響も考えられるが、国会における審議を見守っていきたい」といって、冷たい答えでした。

稲葉泰子



3月19日、イラク戦争2年の「3・20国際共同行動 in おかやま」に、いなば泰子市議も参加しました。

## 地域に9条の会を

地域9条の会のとirikumiを紹介し、各地で「憲法9条を守れ」の世論をつくりましょう。

### 幡多学区で初の準備会

2月25日、東公民館で準備会を持ち、7人の参加で9条学習と今後の取り組みについて話し合いました。

国民投票2分の1を必要とする運動とのこと、取り敢えず身近な人に賛同を得よう、会への参加数を増やそうということになりました。

9条を守る運動はネズミ算的な発展がない限り成功おぼつかない運動です。平和を守る国とするか、再び戦争できる国とするかの二者択一の運動です。ゴマカシが横行する今の政権、もしかして…憂慮せざるを得ません。どうか皆さん「9条の会」アピールを支持していただき、平和維持の一点で賛同とご支援お願いいたします。

※幡多学区の連絡先は下記のとおりです。

岡山市高屋505-8 TEL (086-273-8530)

### 津島モール、イズミヤ周辺で街頭宣伝

三軒屋弾薬庫周辺住民の会が企画した9日の行動が継続して行われています。

2月の天満屋ハッピータウン岡北店前(既報、本紙2月号)に続いて、3月は津島モール周辺、4月はイズミヤ津高店のバス停周辺で、夕刻、宣伝と署名活動がとりくまれました。

### 岡北「9条の会」が設立総会

4月23日(土)午後2時から岡北地区で準備がすすめられていた「9条の会」の設立総会が、北公民館で行われます。当日は、県婦人協議会会長・水野三重子さんの講演があります。

### 今後のスケジュール

- |    |        |                        |
|----|--------|------------------------|
| 4月 | 12日    | 小学校入学式                 |
|    | 13日    | 幼稚園入学式                 |
|    | 15日    | 岡山市連合婦人会総会             |
|    | 16日    | 三軒屋周辺住民の会総会、タウン・ウォッチング |
|    | 17日    | 保育リレートーク               |
|    | 24日    | 「岡北9条の会」設立総会           |
| 5月 | 2日     | 生活・法律相談                |
|    | 3日     | 9条を守る財田・竜の口共同センターの宣伝   |
|    | 9日     | 憲法9条を守る岡北共同センターの宣伝     |
|    | 16・17日 | 臨時市議会                  |

## みんなの声

◆山陽新聞でもとりあげられている「中国残留日本人孤児」とその家族の方々―日本へ帰ってきてても、行政の支援は十分ではありません。「ことばの壁」も大きな問題です。

現在、日中友好協会がよびかけて、長岡県営住宅、旭竜コミュニティハウスで、毎週それぞれ一回、「日本語教室」が開かれ、五十人の方々が熱心に日本語の勉強をされています。講師はボランティアで交通費や教材費も自分もちです。

### 中国帰国者へ支援を

◆稲葉さんも多忙ななかを講師の一人として参加されています。そして「せめて教科書代くらいは市の方で援助してほしい」と、二月市議会でもとりあげてください、やっと「教育の一環」ということで援助金を出すことが約束されました。

ボランティア活動なので「資格」はいりません。日常会話の相手をしたり、初歩の教科書をいっしょに読んでという二時間です。講師として気軽に参加してください。方をお待ちしています。

(高島・坪井)



## 高島に在宅介護の支援センター開所

高齢者が地域で住みやすくという目的で、各中学校区に1か所の生活支援サービスセンターを設置することになっています。しかし、高島学区には今まで支援センターがありませんでした。

4月10日、高島の農協うらに「高島ふれあい在宅介護支援センター」が開所しました。高齢者にかかわるいろんな問題の相談窓口です。24時間体制のサービスで相談を受け付けてもらえます。内容は「保健福祉サービスの紹介」、「申請手続きのお手伝い」、「介護予防の助言」、「在宅介護に関する総合相談」等々です。高島地域のセンターとしてご利用ください。

主な利用は通学・通勤者ですが、遠くは旧山陽町在住の人も利用されます。現在は、交通バリアフリー法に規定されているエレベーターの設置が待たれています。



## 道路の整備すすむ

### 「がっそ」な笠井山公園

稲葉市会議員は昨年九月、畑鮎の笠井山公園と周辺地域の整備について対市交渉し、十一月議会で質問しました(既報、昨年十月・今年一月号)。竹やぶの中を走る道路は竹の子がアスファルトから突き出て、ほこほこになり、かなり危険な状態でした。市長は、「あれはがっそで、行き過ぎです」などと答弁していました。このほど、展望台の整備も含めて、上の写真のように、道路の整備がすすんで安全な道になりました。

## 高島駅で20周年記念行事

三月十三日(日) JR高島駅創立二十周年行事が行われました。(写真) 高島駅は、二十年前に住民運動によってつくられました。当時の一日の乗降客は、約千五百人でしたが、今では四倍近くの五千七百人に増えています。